



# 理工学部理工学科機械科学コース

Mechanical Science Course , Department of Science and Technology



## コース案内

- [コース沿革](#)
- [教育方針](#)
- [各賞受賞者一覧](#)

## コース案内 > [各賞受賞者一覧](#)

平成28年度機械工学科  
機械創造システム工学コース  
各賞受賞者一覧

## コース案内

- [就職先・進学先](#)
- [教職員一覧](#)
- [企業・研究者の皆さんへ](#)

## 入学希望の皆さんへ

- [何が学べるか](#)
- [どんな研究？](#)
- [卒業後の進路](#)

## 自己点検・評価

- [授業評価アンケート](#)
- [優秀教員表彰](#)
- [在校生の皆さんへ](#)

氏名をクリックすると受賞者からのメッセージが表示されます

## 平成28年度 日亜賞受賞者からのメッセージ

日亜賞を受賞して

機械創造システム工学コース 宮本 周治



このたびは、このような名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。私は、学業の成績があまり良くなく、学部時代には留年したほどです。とはいっても、その次の年度で必死に勉強し、飛び級することでリカバーしましたが、そのため、今までの学生生活において、これといって特別に賞をもらったことはありませんでした。しいて言えば、小学生時代に一度も学校を欠席したことがなく、皆勤賞を頂いたぐらいでしょうか。しかしながら、そのような私が、学生生活最後の年の修了間近において、日亜賞受賞者に選ばれたという報告を聞き、大変驚いております。今回も私は、特別に何かをしたというわけでもなく、大学院在学中に国内学会に7回、国際学会に2回参加し、学術論文を1本書き上げただけです。研究室配属後の生活で最も大変だったことは、学会等の発表準備です。私は、学会に登壇申し込みをする時に、見切り発車をしてしまうことが多かったため、基本的には出発直前まで実験をし、データ整理やスライド作成は現地で行うことが多かったです。しかし、M2の時に行われた第39回日本生体医工学会中国四国支部大会では、研究が認められ、若手研究者奨励賞という賞も頂くことができました。非常に苦しい思いもたくさんしましたが、私の頑張りが日亜賞や学会での賞などの形で認められ、大変うれしく思っています。

私は、来年度から社会人という道を選択し、ついに長い学生生活に終止符を打ちます。社会人になるということで、不安も少しありますが、苦しかった研究室生活を思えば頑張ることができると思います。最後になりましたが、私がこのような賞を受賞することができたのは、私一人の力ではなく、私の周りでご指導いただいた安井先生をはじめとした緒先生方、先輩である謝さん、中村さん、長谷さん、林さん、市川さん、同期の小川君、クレモン君、水口などの助力があったためです。この場をお借りしてご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

[日本機械学会三浦賞](#)

[日本機械学会畠山賞](#)

[三木康楽賞](#)

**日亜賞**

壺田 健太  
宮本 周治  
長谷 栄治

[徳島大学工業会賞](#)

[徳島大学工学部  
教育研究助成奨学賞](#)

[機械工学奨励賞](#)

[日本設計工学会  
武藤栄次賞優秀学生賞](#)

[機械創造システム  
工学コース  
優秀発表賞](#)

[機械工学科  
優秀発表賞](#)

Department of Mechanical Engineering Faculty of Engineering , Tokushima University